



兵庫県/ちくさ高原にて（逆アオリ） 4x5 300ミリ(上下カット)

## フォトアーティスト たれ

会長 鈴木 克彦

今も昔も「写真は芸術か？」論争がよく言われます。これは多分に、日本人ならではの美意識がなせる技かと私は思っています。海外での写真の評価は、われわれの想像以上に高いものがあるようです。どうも日本人の感覚ではどう頭の中に摺り込まれているのかは判然としませんが、写真は「何枚でも刷り込める？プリントできる」と言ったことから逆に芸術的発想よりも「値が付けられない」モノとしてイコール価値なし。芸術性なし。と勝手に決められて、しかもそれを良しと喧伝されていると言ったところでしょうか。

逆に絵画となると恐ろしいもので“上手い、下手”には関係なく「これは芸術だ！」と無抵抗に受け入れています。刷り込みとは

恐ろしいものです。かの「浮世絵」もある意味では似たような歴史をたどっています。

しかし、現実には“自然風景・風景写真”ではどうでしょうか？<風景画家が、自然景観を見て自分好みで「形を変え邪魔者は消して？」創り上げる？> 写真の場合は、目の前にあてがわれた？自然景観を、自分の美意識の中で「どう切り取るか、どこにポイントを置くか、構図を整えるか」に腐心して創り上げていきます。

写真は字のごとく、有るものは全てを写し撮ります。その意味では、自然との葛藤です。撮りたくないもの、外したいものを構図の中で選択しながら、ジックリと計算します。自然と対峙する姿勢は、鋭い観察力、想像力、美的感覚が不可欠です。

感性溢れる フォトアーティストの気概をもって頑張ろうではありませんか。



※※※ 重 要 ! ※※※

## 平成29年度定期総会のご案内

会長 鈴木 克彦

下記日程にて、平成29年度定期総会を開催致しますので、ご出席をお願い致します。

なお、定期総会の議案書及び出欠ハガキ(委任状)を同封致しますので、ご一読の上、**出欠ハガキを6月15日(木)迄に投函**願います。

日程：平成29年6月24日(土)

場所：大阪写真会館 5階会議室

受付：11時30分～ 総会：12時～1時頃まで

※総会終了後に懇親会を行います(自由参加)

懇親会参加費：2,000円(弁当飲物代)

定期総会は、会則にあります通り『協会の最高の意思決定機関』です。会員各位におかれましては、万障繰り合わせの上、ご出席戴きます様、宜しくお願い致します。

※※※※※※

## 2018展に向けて

運営委員長 田中 明

2017展の全日程が完了し、会場にて実施致しました「あなたが選ぶ最優秀作品」の投票とアンケートの集計を、今月号に同封致しますので、ご一読下さい。

なお、来場者投票の結果、受賞された会員へは、別途事務局より賞状を送付しました。

2018展は、神戸展を神戸市の県民会館ギャラリーにて3月13日～18日の日程での開催が決定しております。名古屋展につきましては、名古屋市博物館へ4月3日～8日の開催希望を提出しておりますが、6月に正式決定の予定です。決まり次第、改めてご報告致します。

以上の通り、2018展の開催初日が2017展より約半月早まることから、2018展の出展作品の最終確認会を11月1日に早めて実施する予定です。

ついては、会員各位におかれましては、出展希望作品の審査提出を早めに済まされる様、宜しくお願い致します。

## 「京都 北山杉撮影会の報告

会員 菅河 修

5月14日(日)「京都 北山杉撮影会」が開催されました。関西から12名、名古屋から1名、計13名の参加がありました。

当日は天気も回復し、新緑も映える天候となりました。少し前から間伐も行われ、適度に樹間に日が差すようになり、光が林の中に回るようになっていました。10時に集合場所の「道の駅 ウッディー京北」に集合したのち簡単な説明を受け、撮影場所に向かいます。



ウッディー京北にて集合写真

撮影は2つのグループに分かれ、京都から遠い大森地区をスタートに杉坂地区、中川地区と進む1班と逆コースで回る2班で進めました。この地域には昔撮影にきたことのある方も多くおられました。改めて北山杉の美林に出会って写欲が起こってきたという感想が出てました。北山杉だけでは単調なので何かほかにポイントを付け加えるという狙い方をしていた人が多かったようです。途中の周山街道では車を安全に停める場所が無いので、そこから少し入った場所や旧道沿いがポイントとなります。



中川地区から北山杉を望む



大森地区では道沿いに北山杉林らしい杉の林立した姿が見られ、水が張られた田んぼと杉の組合せが撮影できました。杉坂地区では北山杉独特の台杉がまとまって育てられている姿を見ることが出来ます。



杉坂地区の北山杉密集地とフジの花

また中川地区では、ここが北山杉生産の中心地ですが、五百年杉の株があり、この時期に斜面地ではシャガの花が密生していました。参加者の皆さん、思い思いの作品が撮れたことと思います。

当日は京都市内で葵祭巡行のため、帰りは市内の混雑を避けて京都縦貫道回りで帰るのが渋滞を避けるにはよいとのアドバイスもありました。

秋には宗蓮寺では紅葉と北山杉が組み合わせられたカットもよく撮られたりしますので、季節を変えて来て戴いてもいいかと思えます。

## 訃報 森 和彦会員

運営委員長 田中明

5月1日に奈良県橿原市在住の森 和彦会員が死去されました。享年80歳。

森会員は、一時期休会された後、協会に戻られ精力的に奈良県内で撮影をされてました。約3年前からすい臓がんを患い闘病されましたが、この度、治療の甲斐無く死去されました。

5月2日に鈴木会長と私の二名が、告別式に出席しました。ご冥福をお祈り致します。

## モノクロ部会の暗室が完成

モノクロ部会 松本憲治

5月号にてご案内の通り、かねてより会員有志によるモノクロ部会で進めておりました「暗室開設工事」が完了し、去る5月7日(日)に参加メンバーの安達会員、梅田会員、垣内会員、田中(明)会員、橋本会員と私の計6名が出席して完成披露会兼プリント体験会を開催致しました。

安達会員、梅田会員、田中会員の3名は、久しぶりの暗室作業を体験し、各自六切りプリントを数枚焼かれました。



壁に沿って引伸し機が5台並び…



反対側には薬液バットが並び…

6月からは『毎月第2日曜日13時から』モノクロ部会暗室研究会を、この暗室(兵庫ラボ)で開催します。

6月の研究会では『スプリットグレードプリント技法』をテーマとして、6月11日に開催します。最初に2階会議室で「スプリットグレードプリント技法」の動画を鑑賞し、その後、暗室で実技練習の予定です。興味のある方は事務局までご連絡下さい。